



●勤務医に関する話題や投稿などで構成するコーナーです。勤務医生活の雑感、あんな意見はこの欄にお寄せください。
●投稿要領…700字程度、名古屋昭和区妙見町19-2、愛知県保険医協会「勤務医コーナー」係まで。薄謝進呈致します。

公立病院の再編統合は廃止でなく地域医療に貢献を！

江南市 平井長年

厚労省は病床数を二〇二五年までに百三十五万床から百十九万床に減らす計画を立てている。特に急性期病床の削減を狙っている。削減が進まない中で、二〇一九年九月二十六日に公立・公的病院千四百五十五の再編統合の対象に四百二

十四医療機関を公表し、二〇二〇年三月までに変更するかどうかの結論を出し九月までに都道府県が取りまとめられるように求めた。九領域（がん・心疾患・脳卒中・周産期・小児・救急・災害・へき地・研修・派遣機能）全てで「診療実

績が特に少ない二百七十七医療機関。また六領域（がん・心疾患・脳卒中・周産期・小児・救急）全てで「類似かつ近接」の病院がある三百七医療機関を上げた。この両領域に該当する医療機関も百六十あり公表は四百二十四医療機関となった。

これに対し十月四日全国知事会・市長会・町村会は厚労省と協議し地域住民は廃止されるのではと不安に陥っている。国は説明責任を果たしてほしいと抗議し

た。また全国自治体病院協議会は「地域により果たす役割は異なり、全国一律の基準で再編統合を推進する事は適切ではない」と主張した。

一宮市でも統廃合の対象に木曾川市民病院が上がった。そこで十一月一日の自治体キャラバンに参加した折、市に木曾川市民病院は回復期リハビリ病棟で地域に貢献しており廃止されれば地域に混乱を招くかどうかと質問した。十月二十三日に木曾川市民病院の院長は一宮市民病院とは住み分けをしていくと発言し、病院の廃止はないとの回答だった。木曾川市民病院は急性期・地域包括ケア病棟、回復期病棟で構成され今後急性期病床を地域包括

ケア病床あるいは回復期病床へ振り分け引き続き地域に貢献するものと思われる。また一宮市は議会に「木曾川市民病院は一宮市民病院の後方支援病院としての役割を担っており、必要不可欠な病院です。再編統合は廃止や民営化、他の医療機関との統合だけでなく、病床数の削減や機能の分化・転換・連携も含まれており、必ずしも廃止を目的としたものではない」と報告している。

しかし厚労省は地域包括ケア病棟、回復期病棟は民間で担えるのではとの判断で今後どうなるか判断を許さなれないと思われる。